

【図：農学研究科シラバス記載例】

農学研究科 博士前期課程 国際バイオビジネス学専攻

バイオビジネス経営学特論Ⅰ（2単位）

担当者氏名 門間敏幸

◆学習・教育目標

バイオビジネス経営学の基礎となる理論を自ら考えて修得するとともに、その現代的意義や限界、今後の理論開発の方向性について学ぶ。特に、バイオビジネス経営学特論では、①バイオビジネス経営学の基本課題、②経営哲学・経営理念・経営目的、③ナレッジマネジメントと知識創造経営、④経営者能力と意思決定、⑤経営の戦略・計画、⑥リスクマネジメント、について大学院生自らが理論と研究課題を探索できるように、担当教員との論議を中心に講義を展開する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

バイオビジネス	経営倫理	知識創造経営	ナレッジマネジメント
経営意思決定	経営者能力	経営戦略	リスクマネジメント

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	バイオビジネス経営学の課題（第1～2週）	・一般経営学、農業経営学とバイオビジネス経営学の基本課題の違いを修得。	本授業のねらいは、バイオビジネス経営学の理論を大学院生自らが発見して修得出来るように、教員と学生、学生相互の論議を重視する。特に準備すべき事項はないが、常に自らの考え方を整理して発表できるようにすることが大切である。
2	経営哲学・経営理念・経営目的（第3～4週）	・バイオビジネス経営学の経営哲学・経営理念・経営目的の特徴を主として持続性の視点から修得。	
3	ナレッジマネジメントと知識創造経営（第5～7週）	・ナレッジマネジメントによる知識創造経営への変革の理論を修得。	
4	経営者能力と意思決定（第8～10週）	・経営者能力の評価理論、バイオビジネスにおける意思決定プロセスの評価理論を修得する。	
5	経営の戦略・計画（第11～13週）	・バイオビジネスにおける経営戦略・計画の体系的な把握のための理論を習得。	
6	リスクマネジメント（第14～15週）	・様々なリスクにさらされているバイオビジネスにおけるリスクマネジメントの理論を修得する。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）
 バイオビジネス経営学総論への招待（バイオビジネス4収蔵）/門間敏幸/家の光協会（2005）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）
 ドラッカー/マネジメント上・下/ダイヤモンド社（1997）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

授業への積極的な参加度とレポートで評価する。

◆その他受講上の注意事項

教員から教わるのではなくて、自ら理論を創造するという態度で授業に参加して欲しい。